

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	7 月	18 日	記入者	亀田幸英	
調査者名	亀田	神野	鈴木	中西	東辻	前田

文化財名	十二社神社社そう					
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
指定年月日	1985年(昭和60)3月15日					
所在地	吉野郡川上村中奥7-8					
所有者 管理者	十二社神社					
員数						
時代区分						
樹木の場合	(樹木名) 下記その他参照			(樹齢) 不明		
案内板の状況	社そうの中に昭和61年3月、県教育委員会作成の説明板が設置されている。					
公開	直接、社そうの中には立入れないが金網越しに見ることができる。					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ( )					
当面の課題	金網のフェンスでブロックされ、人の立ち入りが禁止されているので、当面は問題なし。					
今後の課題	手の入らない原生林に近い社そうに付、今後も嚴重な管理が必要。					
その他 (由緒など)	十二社神社は中奥川の左岸、海拔約330mの地点に鎮座する。この社そうは面積約500㎡、高さ約20mで高木層にはウラジロガシが優占し、ヤブニッケイ、イチイ、シラカシ、タブ、カゴノキ、他などを交える。亜高木層にはサカキ、シロダモ、他など。低木層にはアオキが優占種。本社そうは照葉樹林の内陸深山のタイプの林相をよく伝えており、又暖地性植物を多く包含する学術上極めて重要な森林である。(県説明板より抜粋)					
コメント	非常に珍しい照葉樹林の林相が見られる貴重な社そうである。社殿の後方にある屏風岩に隣接しているお陰で残ったものと思われる。将来にわたり長く保存して欲しいと強く思う。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	7月	18日	記入者	亀田幸英	
調査者名	亀田	神野	鈴木	中西	東辻	前田

文化財名	十二社神社社そう
------	----------

十二社神社正面



神社背後の社そうはウラジロガシ他の大木が目立つ



特徴的な鹿の子模様のカゴノキ



神社の社そうの背後には中奥川の清流



県の説明板の設置



県の説明板

